

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第3回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

令和元年度上越市地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

令和元年7月9日（火）午後6時30分から午後7時20分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：丸山進（会長）、西山新平（副会長）、飯田秀治、折笠弘志、金井貞子、佐藤祐子、清水薫、中川よしえ、渡辺喜一

・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、岩野次長、宮腰グループ長、丸山班長、横田主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【岩野次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【丸山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

### 【山岸所長】

- ・挨拶。

【丸山会長】

- ・会議録の確認：折笠委員に依頼。
- ・本日予定していた報告事項「公の施設の使用料改定について」は、事業主管課である行政改革推進課の都合により中止となったため、このまま協議事項に移る。本日の協議事項「令和元年度上越市地域活動支援事業について」、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・－資料により説明－

【丸山会長】

- ・事務局からの説明にもあったが、今年度採択した14団体のうち、牧文化協会から辞退届が提出された。これに伴い、同団体へ配分予定であった補助金20万2千円が予算残額となるため、本日は、この予算残額の対応について協議する。  
平成28年度に、事業取下げに伴い二次募集を実施した経緯があるが、その他の実施方法等について、事務局案があれば説明を求める。

【丸山班長】

- ・今年度の地域活動支援事業については、採択事業が14件と多く、補助希望額についても牧区の予算額500万円を大きく超える状況であったため、傾斜配分及び一律に補助率を下げた採択した経緯がある。  
このため、多くの採択団体が事業規模の縮小などを余儀なくされた状況である。これらを踏まえ、事務局では「採択団体への再配分」について検討したので、資料に基づき説明する。
- ・－資料により説明－

【丸山会長】

- ・はじめに、追加募集を実施するかどうかを協議し、決定したいと思う。追加募集を実施しない場合は、予算残額20万2千円を市へ返納することになる。実施することに決めた場合は、次に、対象とする団体をどのようにするのかを決めなければならない。新規団体のみとする方法や、事務局から説明のあった採択団体へ再配分を行う等の複数の選択肢がある。これらについて、意見等があれば願います。

【清水委員】

- ・事務局から採択団体への再配分について説明があったが、この内容で決定なのか。

【山岸所長】

- ・採択団体から再配分の希望があったことを想定し、例として説明したものである。

【飯田委員】

- ・辞退届が提出されたことを、他の採択団体は知っているのか。

【山岸所長】

- ・他の採択団体には知らせていない。

【丸山会長】

- ・地域協議会へ報告する前に、公に知らせることはできない。

【清水委員】

- ・事務局から説明のあった、採択団体へ再配分の希望を募り、希望額が予算額を超えた場合は、傾斜配分や一律に補助率を下げることで再配分額を調整する方法でよい。

【渡辺委員】

- ・既に事業が完了している団体も、再配分の対象とするのか。

【丸山会長】

- ・事業が完了している団体を対象から外した場合、事業未実施の団体が有利となり、不平等となる。今年度の採択団体は、補助希望額から30%以上減額されていることから、ほとんどの団体が事業縮小や自己負担の増額を余儀なくされており、再配分の対象を一律に採択団体とすることが適当と考える。ただし、採択団体が増額を望まず、他団体へ再配分することを了承した場合は、対象から外れることとなる。また、再配分を希望する団体には、事務局より補助金変更申請等の手続きを依頼する。

【飯田委員】

- ・提案団体には、ヒアリング時に補助希望額が大幅に減額される場合がある旨の説明を行い、採択団体はこれを了承して申請手続き等を行った経緯がある。これらを踏まえ、資金不足等により辞退することに反対はしないが、予算残額については新規に提案団体を募集すべきであり、募集した結果、提案団体がない場合は、市へ返納する方法がよいと考える。採択団体への再配分については反対であるが、地域協議会の中で、採択団体への再配分が適当との採決が取られれば、これに従う。

【丸山会長】

- ・今ほど、新規に提案団体を募集するとの案が出された。意見が分かれることは当然で

あり、他の委員からも意見等があればお願いしたい。最終的には、賛成多数の意見を採決することとしたい。

(ほかに意見等を求めるがなかったため、「採択団体への再配分」と「新規募集」について採決を実施)

- ・賛成多数により、予算残額20万2千円については、採択団体へ再配分を行うこととし、採択団体への説明及び再配分額の決定等は、事務局に一任することでよいか。併せて、次回の地域協議会にて事務局より結果を報告してもらうことでよいか。

(一同、異議なし)

**【丸山班長】**

- ・再配分方法について、確認をお願いします。

**【丸山会長】**

- ・再配分方法の確認であるが、「すべての採択団体に対して、一律に再配分を行う」とするのか、または「採択団体のうち、希望する団体に対して、再配分を行う」とするのか、委員の意見を求める。

**【中川委員】**

- ・事業の進捗状況等により、再配分を希望しない団体が出てくることが想定され、採択団体に対して、一律に再配分を行うことができない場合もある。よって、採択団体のうち、希望する団体に対して、再配分を行うことが適当と考える。

**【丸山会長】**

- ・再配分方法については、「採択団体のうち、希望する団体に対して、再配分を行う」との方法に決定してよいか。

(一同、異議なし)

- ・続いて、連絡事項について、事務局に説明を求める。

**【丸山班長】**

- ・「上越市議会女性フォーラムの開催」について説明。
- ・「各区の自主的審議事項の取組状況」について説明。
- ・「第4回牧区地域協議会の開催」について説明。

**【丸山会長】**

- ・今ほどの事務局の説明について、委員の質問を求める。

#### 【飯田委員】

- ・本日の協議案件については、次年度以降も起こり得る。同じことの繰り返しとならないよう、採択基準や採点方法等の見直しを実施しなければならない。2年も3年も同じ内容で実施している事業は採択しないなど、厳しい対応が必要となる。

#### 【丸山会長】

- ・今程の意見のとおり、地域協議会として採択基準等の見直しを実施する必要がある。来年度は委員の改選となるが、当該案件を把握している現協議会において、一定の基準等を定め、次年度以降に運用できるよう対応していく。

#### 【中川委員】

- ・子どもの健全育成を図る事業等については、単純に継続年数だけを見て判断するのではなく、内容を十分に把握する必要がある。

#### 【西山副会長】

- ・個人採点の前に、地域協議会委員全員で提案内容を審査する等の対応が必要である。

#### 【中川委員】

- ・点数配分も重要だが、提案内容について協議、審査することも重要である。

#### 【丸山会長】

- ・提案団体のヒアリング終了後、再度、地域協議会を開催し、提案内容を精査したうえで、採択・不採択等を決定する方法等があるが、今後の検討事項としたい。
- ・ほかに質問を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

## 9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：[maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。